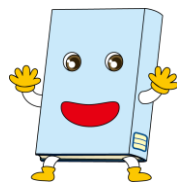


トショカン/ホント



校長 坂 光司 図書担当 大重宏美、中野香織 平成 26 年 3 月 18 日発行

-東日本大震災から3年-

東日本大震災から 3 年経ちました。まだまだ困っている人はたくさんいます。現実をしっかりと見つめて、復興やエネルギー問題について考えてみよう。

☆東日本大震災にまつわる本を紹介します。図書室にあるので借りにきてください☆



「東日本大震災 1年の全記録」

産経新聞社著

地震、津波、原発事故、そして復興。空から地上から定点写真で見る被災地の1年。870枚のカラー写真、記事、データを一挙掲載。2011年3月～2012年2月の日別完全記録も収録。『産経新聞』のデータをもとに構成。



「ふたたび、ここから 東日本大震災・石巻の人たちの50日間」

池上 正樹著

果てしない悲しみの大地に、新しい心で立ち上がる人々がいた...。石巻市街から牡鹿半島の漁村まで、東日本大震災で変わり果てた被災地を巡り、人々から託された「命の言葉」をつづるノンフィクション。



「いますぐ考えよう!未来につなぐ資源・環境・エネルギー 1

原子力発電を考える」田中 優著

資源・環境・エネルギー問題のとらえ方、解決に向けての方法を、マンガ・写真・図表を交えて紹介。1は、原子力発電を取り上げる。

※図書室には震災やエネルギー問題の本がたくさんあります!

学年が変わるので、春休み前に今借りている本は全て返しましょう。春休み前に本の貸出はしません。春休み中、図書データの年度処理を行う為図書室は閉館です。



先生たちのとおきのおすすめ本

小澤先生の巻

「ボックス！」 百田 尚樹著

私は、寝る間も惜しんで本を読むほどの読書家ではないが…。たまに本屋に行けば、本のタイトルやカバーで本を手取るタイプである。四中の図書館でも同じように、タイトルやカバーで本を選んでしまう。

“ボックスって、箱かい?! んっ、百田が書いたのか? 永遠の0を書いた人だよな?”

などと思いつつ、表紙を開くと…、“何? これってボクシングの話?”と目を通し始めたら…。止まらない、止まらない!! スピード感あふれる話しの展開と登場人物が生き生きと描かれる描写、思わず涙を誘うストーリーと久々にヒットの本でした。

何か、もろスポ根系じゃん、という方もいそうですが、ボクシングを題材にした小説はなかなかないような気がする。さらっと、でも、何か心を打たれたいなあ、なんて思っている人にぜひお薦めします!!

小澤 託



読書イベントの図書室



3月11日に図書室で図書主任の大重先生と司書が、**不条理と愛**をテーマに読み聞かせやブックトークを行いました。部活動等で忙しい放課後でしたが、たくさんの生徒が楽しんでいました。

☆☆☆イベントで紹介された本☆☆☆



「アツク 少年がみつけたもの」 ミーシャ・ダムヤン作 ヨゼフ・ウィルコン絵

「くいしんぼうのあおむしくん」 横ひろし 作 前川欣三 画

「文学のふるさと」 (「墮落論」 坂口安吾著 新潮文庫より)

「春を恨んだりはしない 震災をめぐって考えたこと」

池澤 夏樹著



被災地の肉声、生き残った者の責務、自然の脅威、国土、政治、エネルギーの未来図。旅する作家が持てる力の全てを注ぎ込み、震災の現実を多面的にとらえ、綴る。

